

科目名	乳児保育Ⅱ A					単位	2.0
担当教員	富山 幹子						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	2	授業番号	3118

●授業のテーマ

◎一人ひとりの子どもが、その子らしく発達していける保育方法を明確に学ぶ。

●到達目標

①人間の基本的な発達の枠組みができる乳児期の育ちの意味を理解し、乳児保育の計画を作成するとともに、保育の内容、方法、環境構成、保育者の援助の仕方等を学ぶ。

②乳児の生活と保育を踏まえ、社会における乳児保育のあり方を学ぶ。

●学習内容(授業概要)

◎乳児保育は、子どもが誕生して育つ過程の中で人と出会い体験をし、その子らしい人生の基礎を作り出す第一歩である。保育者は人間形成の土台でもある乳児期の育ちに関わる重要な役割を担うため、この授業を通して、保育者の役割、責務について習得する。

また、保育の計画を作成することによって、保育内容の展開方法を探究し、保育が人格形成に大きな影響を与えることを学ぶ中で、心身ともに健全な子どもの育ちに繋がる専門知識や技術をみにつけて、実践に適応する力を習得する。

●学習内容(授業計画)

≪後期≫

1. ガイダンス(授業の進め方)
2. 対人関係の発達と保育
3. 対人関係の発達と保育(ことば)
4. 対人関係の発達と保育(コミュニケーション)
5. 乳児の遊びと玩具
6. 乳児保育と保育課程
7. 乳児保育指導計画案解説と保育①
8. 乳児保育指導計画案解説と保育②
9. 乳児保育指導計画案解説と保育③
10. 乳児保育指導計画案作成(部分案①)
11. 乳児保育指導計画案作成(部分案②)
12. 乳児保育指導計画案作成(日案)
13. 乳児保育指導計画案作成(日案)
14. 乳児保育のあり方と今後の課題
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

◎準備学習：授業テーマに関するテキストの内容の予習。

- ◎事後学習：疑問に思ったことや質問事項等は、次回の授業で発言できるようにまとめておく。
- ◎グループ討議に必要な資料収集を準備しておく。

●成績評価方法・基準

- ◎筆記試験（50%）
- ◎すべての提出物（35%）
- ◎平常点（15%）

●テキスト（必携）

- ◀No.1.▶書籍名：乳児の生活と保育、著者名：松本園子編著 他7名、出版社：ななみ書房、販売先：(株)D0
- ◀No.2.▶書籍名：乳児の発達と保育 遊びと育児、著者名：園と家庭を結ぶ「げんき」編集部、出版社：エイデル研究所、販売先：(株)D0

●参考文献／その他

- ◎書籍名：はじめて学ぶ乳児保育、著者名：志村聡子編著、出版社：同文書院
- ◎書籍名：やさしい乳児保育、著者名：早川悦子、池田りな、伊藤輝子編著、出版社：青踏社
- ◎書籍名：乳児保育演習ガイド、著者名：高内正子、梶美穂編著、出版社：建帛社

●履修上の注意

- ◎欠席しないように努力しましょう。
- ◎課題の提出期限を厳守しましょう。
- ◎意欲的に授業に参加しましょう。